

輸出事業計画

※申請者名：愛知県

品目：野菜（イチゴ、メロン、キャベツ、大葉、自然薯）、果樹（梨、桃）、花き（キク、グロリオサ、スイートピー、その他花き）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・産地独自の取組により多様な品目の輸出が試みられてきたものの、輸入規制や規格対応、鮮度保持を含むサプライチェーン構築の課題から、香港やシンガポールなど規制が緩やかな国を除き、継続的な取引には至っていない。
- ・県内には中京圏という大消費地が広がり、関東圏や関西圏へのアクセスにも優れているため、これまでは国内出荷による安定経営が可能であったが、人口減少による国内需要の縮小が見込まれる中、輸出を重要な販路として位置づけ、新たな海外市場の開拓を進めることが喫緊の課題となっている。
- ・輸出需要の増加に対応するためには、既存の生産や流通体制では限界があり、組織的な連携と生産体系の見直しが必要である。

【課題】

- ・県を中心に、JA、関係市町、輸出商社、輸出意欲のある産地などが連携する推進体制を構築し、輸出品量の増加と輸出向け栽培の拡大を図る必要がある。
- ・輸出に適した品種選定や産地リレーの導入により、生産体系を転換し、安定供給と品質保持の両立を図ることが求められる。
- ・参画産地の輸出品目における主な課題：
  - ①輸送方法、鮮度保持技術の検証（イチゴ、メロン、キャベツ）
  - ②周年供給に向けた夏季高温対策（大葉、グロリオサ）
  - ③長期貯蔵、輸出規格対応（梨、桃）
  - ④病虫害防除、生産者確保に向けた栽培マニュアル整備（キク、グロリオサ、スイートピー等花き）
  - ⑤米国、台湾の残留農薬規制への適合性確認（食用品目共通）
- ・輸送コストの削減と効率化が期待される名古屋港や中部国際空港などの地元インフラを活用した輸送体制の構築が必要である。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産】

参画産地	輸出品目	主な取組内容	対象国			
			シンガポール	香港	米国	台湾
豊橋田原 広域農業 推進会議  [構成員] 豊橋市 田原市 JA豊橋 JA愛知みなみ (青果農協)	イチゴ	・県ブランド「愛きらり」の輸送試験を実施し、パックとイチゴの間にウレタンを敷く梱包方法での品質保持を検証 ・4～6月の鮮度保持輸送の確立、温度管理や鮮度保持手法の検討、商品ロスの原因調査	○	○	○	○
	メロン	・船便輸送試験を実施し、追熟抑制や温度管理を取り入れた輸送方法を確立、低コスト輸送と品質維持を検証 ・高温期鮮度保持輸送の確立、温度管理や鮮度保持手法の検討、商品ロスの原因調査	○	○	○	○
	キャベツ	・船便輸送試験を実施し、温度管理を取り入れた輸送方法を確立、夏季の低コスト長距離輸送と品質維持を検証 ・高温期鮮度保持輸送の確立、温度管理や鮮度保持手法の検討、商品ロスの原因調査	○	○	○	○
豊橋温室 園芸農業 協同組合	大葉	・遮光資材や遮熱資材を導入した夏季生産モデルで、ハウス内温度抑制効果と収量維持効果を検証 ・船便鮮度保持輸送の確立、温度管理や鮮度保持手法の検討、商品ロスの原因調査	○	○	○	○
JAあいち 豊田	自然薯	残留農薬検査により、米国・台湾の残留農薬規制への適合性を調査	○	○	○	○
	梨	・春節までの長期貯蔵に向け、氷蔵庫を活用し、晩生主力品種「愛宕梨」で適用性を検証 ・先進産地の果実袋を導入し、米国向け検疫条件を満たす方法を検証	○	○	○	○
	桃	・有機質配合肥料を活用した生産モデルで、高品質果実の安定供給と差別化を検証 ・中秋節までの長期貯蔵に向け、氷蔵庫を活用し、晩生主力品種「ゴールデンピーチ」で適用性を検証 ・等級別に船便輸送試験を実施し、輸出に適した規格を明確化、輸送後の品質保持性を検証	○	○	-	○
食用品目共通		残留農薬検査により、米国・台湾の残留農薬規制への適合性を調査	-			

輸出事業計画

※申請者名：愛知県

品目：野菜（イチゴ、メロン、キャベツ、大葉、自然薯）、果樹（梨、桃）、花き（キク、グロリオサ、スイートピー、その他花き）

参画産地	輸出品目	主な取組内容	対象国			
			シンガポール	香港	米国	台湾
JA愛知みなみ (花き部)	キク	米国輸出対応に向け、白さび病防除技術を検討、園地登録を行い、米国本土、ハワイ等への試験輸送を実施	-	-	○	-
	グロリオサ	・新規就農者や他作物からの転換促進に向け、栽培技術・管理方法を標準化した生産マニュアルを作成 ・遮光カーテンを導入した夏季生産モデルで、収量増加効果と品質維持効果を検証	○	○	○	○
	スイートピー	輸出先国需要対応に向け、生産量増加を目的に先進産地を視察し、情報収集・意見交換を実施	○	○	○	-
	その他花き	花き輸出拡大に向け、新品目・品種（色等）を見極めるため、アルストロメリア・バラを中心に市場関係者・流通業者へのヒアリングで海外需要を調査	-	○	-	-

【物流・販売】

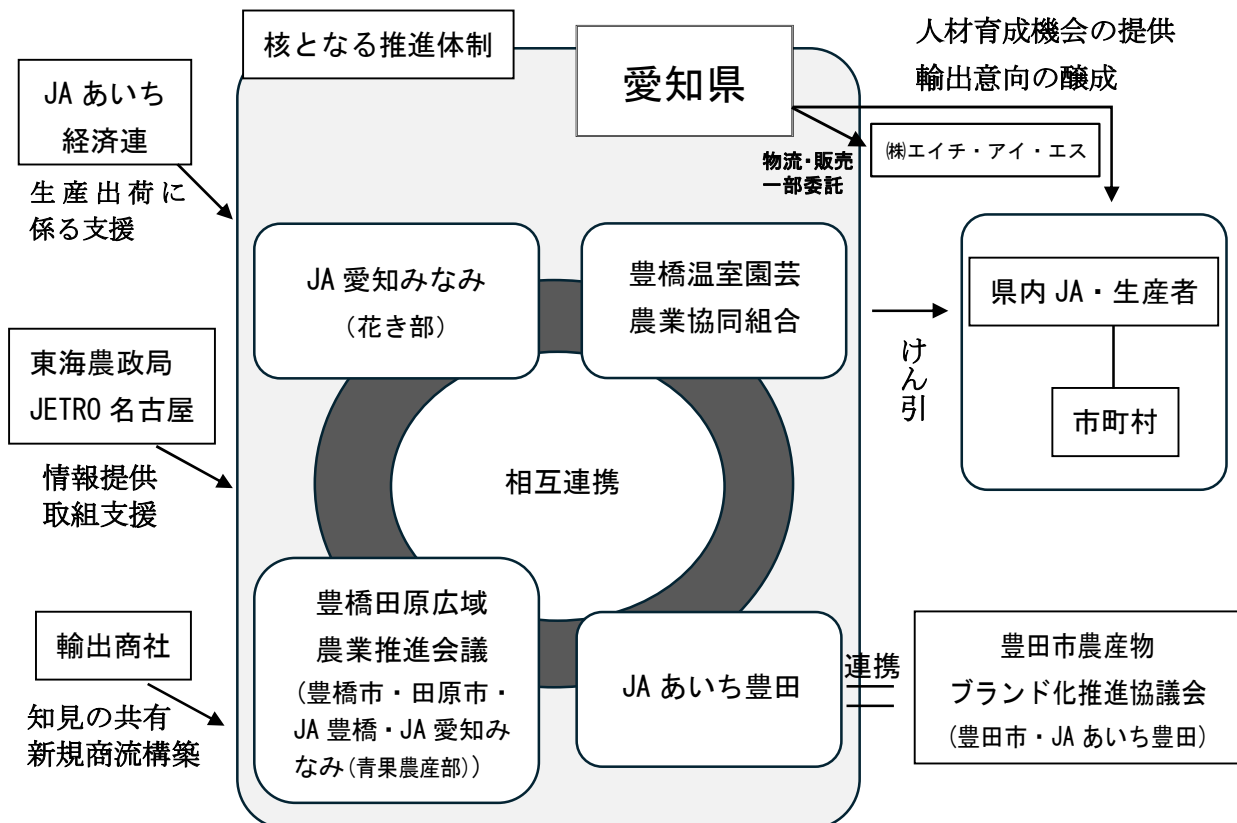
- ・中部国際空港や名古屋港など地元インフラを活用した輸出モデルと、関東・関西圏経由モデルを比較し、輸送コストや日数の削減効果を調査し、効率的な輸出ルートを検討する。
- ・輸出対象国における市場性調査を実施し、販路拡大を図る。
- ・輸出先国のバイヤーを招聘した輸出セミナーを開催するとともに、インフルエンサーを活用してSNS等で本県産農産物の魅力を発信する。

【その他】

- ・輸出課題に対応するため、関係者が連携できる体制を整備する。
- ・検疫や農薬規制などの知識を備えた輸出人材を育成する。
- ・参画産地の成功事例や取組状況を共有し、新たな産地の参入を促進する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

「GFP推進会議」による輸出推進体制図



## 輸出事業計画

※申請者名：愛知県

品目：野菜（イチゴ、メロン、キャベツ、大葉、自然薯）、果樹（梨、桃）、  
花き（キク、グロリオサ、スイートピー、その他花き）

## 4. 輸出目標額

品目		現状 (2023年度)	目標年 (2026年度)
<b>イチゴ</b>			
豊橋地区	輸出額(千円)	0	474
	輸出量 (kg)	0	1,280
	輸出先国		シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (t)	1,000	1,000
<b>メロン</b>			
田原地区	輸出額(千円)	0	1,464
	輸出量 (kg)	0	2,460
	輸出先国		シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (t)	3,986	3,986
<b>キャベツ</b>			
田原地区	輸出額(千円)	0	698
	輸出量 (kg)	0	5,820
	輸出先国		シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (t)	137,900	137,900
<b>大葉</b>			
豊橋地区	輸出額(千円)	8,000	9,300
	輸出量 (kg)	2,400	2,640
	輸出先国	シンガポール、香港、米国、台湾	シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (kg)	2,065,508	2,150,000
<b>自然薯</b>			
豊田地区	輸出額(千円)	0	900
	輸出量 (kg)	0	200
	輸出先国		シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (kg)	2,500	3,000
<b>梨</b>			
豊田地区	輸出額(千円)	663	1,155
	輸出量 (kg)	953	1,650
	輸出先国	シンガポール、香港、米国	シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (kg)	372,900	380,000
<b>桃</b>			
豊田地区	輸出額(千円)	286	1,318
	輸出量 (kg)	315	1,550
	輸出先国	香港	シンガポール、香港、台湾
	生産量 (kg)	421,500	450,000
<b>キク</b>			
田原地区	輸出額(千円)	0	900
	輸出量 (本)	0	6,000
	輸出先国		米国
	生産量 (本)	200,500,000	200,000,000
<b>グロリオサ</b>			
田原地区	輸出額(千円)	2,773	13,452
	輸出量 (本)	10,000	45,000
	輸出先国	シンガポール、香港、米国、台湾	シンガポール、香港、米国、台湾
	生産量 (本)	459,000	460,000
<b>スイートピー</b>			
田原地区	輸出額(千円)	3,554	3,600
	輸出量 (本)	43,600	44,000
	輸出先国	シンガポール、香港、米国	シンガポール、香港、米国
	生産量 (本)	1,587,000	1,600,000
<b>その他花き</b>			
田原地区	輸出額(千円)	0	3,000
	輸出量 (本)	0	28,800
	輸出先国		香港
	生産量 (本)	13,000,000	13,000,000